

北海道情報大学学内報

ななかまど

NANAKAMADO



● 目 次 ●

札幌の秋と体育祭、蒼天祭 学長 大野公男…2

就職コーナー ……………5

私の読書観……………3
情報メディア学部 教授 井野 智

体育祭特集……………6~7

蒼天祭特集……………8~11

江別市都市景観賞受賞……………4

主要行事・編集後記……………12

発行・北海道情報大学

〒069-8585 江別市西野幌59-2 TEL011-385-4411 FAX011-384-0134



札幌の秋と体育祭、蒼天祭

学 長 ^{おお} ^の ^{きみ} ^お
大 野 公 男

東京の秋は僕には苦痛以外の何物でもなかった。昼はジリジリと焼けるような陽が照り、夜は蒸し風呂に入ったような夏がようやく去って、朝夕には思いがけない涼しい風が窓から入ったりする9月を迎えると、人々はほっとする。しかし僕には「ヒューヒュー、ゼーゼー」の喘息の発作が始まる時期なのだった。

中学2年の時から始まったこの発作は、年中行事になってしまった。いつもは気が付かないで歩いている緩やかな登りが、急に坂道と感じられて途中で息を入れるのは初期で、やがて夜も横になれず、積んだ布団に寄りかかって仮眠する状態になる。どんな薬も効果が一時的で、転地療法だけが救いだった。

列車が東京を離れて、大船から鎌倉に差し掛かると、もう息が楽になってくるのであった。それが札幌に移り住むことになって、ぐんと楽になった。数年間は梅雨時に多少おかしくなることはあったが、やがてそれもなくなって、もうあの苦しみを忘れて久しい。札幌の秋は私には“救い”である。

私の住む真駒内には、広大な“真駒内公園”がある。人と自転車のみ通行できる道を数分歩いて公園の南の入り口に達し、屋外競技場から小学生用の野球場が2面あるグラウンドを迂回して、“さけ科学館”の前を通り過ぎて、林の中に入ると、20mばかりで、もう豊平川の河畔を見下ろすことが出来る。家から多少速めに歩いて、50分とはか

からない。もう何十回となく、この地点にたたずんで小憩を取るのだが、林の中に入る人には会ったことが無い。先週だったか、そこで足を休めている私のシャツの左腕に、一匹の赤蜻蛉がとまった。さらにもう一匹が加わって、私が動き出すまで、とまっていた。似たような経験を、漱石が句にしたのものがあって、家に戻って調べたら、修善寺の大患から生還して書いた、「思ひ出す事など」の中に：

空が空の底に沈み切った様に澄んだ。高い日が蒼（あお）い所を日の届くかぎり照らした。余は其射返し（いかへし）の大地にあまねき内（うち）にしんとして独り温（ぬく）もった。さうして眼の前に群がる無数の赤蜻蛉を見た。さうして日記に書いた。——「人よりも空、語よりも黙。……肩に来て人懐かしや赤蜻蛉」

という一節のあることを見つけて、嬉しかった。

体育祭と蒼天祭は、学生が主催して、秋に催される。北海道情報大学の伝統ある行事であるが、今年は難産であったらしい。企画が何遍もボシヤって、一時は開催が危ぶまれた事態も生じたようだが、有志の学生諸君の手で、無事開催されたことを有り難く思っている。これからも、これらの良き伝統が受け継がれていくことを、衷心から祈るものである。

私の読書観 Vol. 1



学生時代につけよう読書の習慣

情報メディア学部教授 井野 智

読書とスポーツは、その習慣のない人にはなかなか取っ付きにくいようである。今に、今に思っているうちに、時は瞬く間に過ぎてしまう。青春は人生の基盤をつくる時、勉学にもまして読書やスポーツの習慣を身につけることが肝要である。

読書習慣のきっかけは、読みやすく面白い本との出会いからはじまる。昔、高校生や大学生の必読書といわれた『三太郎日記』『出家とその弟子』『善の研究』などは、難しいばかりで面白くとは思わなかったが、大学生となり教養部の“国文学”の講義で紹介された伊藤整の『鳴海仙吉』や本庄陸男の『石狩川』を読むことで、はじめて読書の楽しさを味わった。いずれも、高校時代は見向きもしなかった作家の本である。

以来筆者は、尊敬する先輩や先生、あるいは“本の虫”と呼ばれる読書家の推薦する書をもっぱら読むことにしている。無尽蔵ともいふべき書籍のなかから、心の糧となる書を選ぶ最良の方法は、様々な人の手になる書評である。新聞・雑誌の書評は新刊を対象としたものが多く、頼りはやはり書籍である。百目鬼恭三郎の一般読者向き『乱読すれば良書に当たる』（新潮社）、1985年から1990年にかけて朝日新聞に掲載されたエッセイから抜粋した『「心の書」を読む』（朝日新聞社）などがある。いずれも、古今東西の小説、詩、評論など多様なジャンルが取り上げられている。

『乱読すれば良書に当たる』では、1著者1冊を旨としており、たとえば城山三郎は『鼠』、サマセット・モームは『月と六ペンス』といった具合。

『鼠』を読むと、城山はもとより、他の作家の経済小説も読んでみたいといった調子で、いまだ上記2冊の推薦書のごく一部を読破したに過ぎない。各界で活躍する55人が執筆した『「心の書」を読む』では、どれほど多くの人々がどれほど多くの本を心の糧としてきたか、各執筆者がどれほど自分流に本を読み、本と対話し、自分の知恵としてきた

かがわかり、読書の大切さを知ることができる。

本学図書館に収蔵されている書籍の多くは、本学の教員が推薦したものである。学生諸君が読書習慣を身につけるきっかけとなる良書が必ず見つかるはずである。

紀田順一郎の『生涯を賭けた一冊』は、生涯に決定的な本一冊だけを著した作者9人について、子孫や関係者を訪ねて彼らの生い立ちや執筆の動機などを聴取し纏めたものである。本書が取り上げた1冊に、田中菊雄の『現代読書法』がある。1942年刊行の同書は、当時、高校教師であった田中が若い人と膝をまじえてうちとけた話しをするつもりで執筆したとしており、この書に刺激されて読書家となった人は多く、筆者の中学時代の恩師もその一人である。1953年、三笠書房から改訂版が刊行されたのを最後に絶版となった。今では得難いこのような名著を入手し、所蔵することもまた大学図書館の重要な任務であろう。

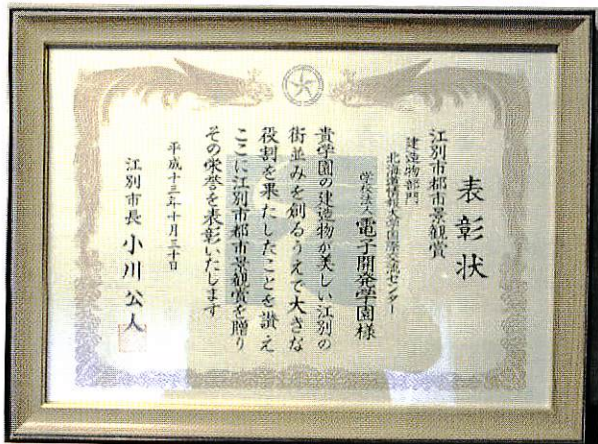
最近読んだ本に、P.F.ドラッカー著、上田惇生訳『プロフェッショナルの条件』（ダイヤモンド社）がある。21世紀を生き抜く企業、組織、NPOと、それぞれが必要とする人材について論じたものである。新世紀は、専門分野の一つに高い能力を発揮し、関連分野についても広く理解することのできる教養ある人材を求めている。情報のプロフェッショナルを目指す本学の学生諸君には是非読んで欲しい一冊である。

高い教養を修めるには、時間と弛まぬ努力が必要である。そのためにも、在学中に読書する習慣をしっかりと自分のものとして欲しい。青春を無為に過ごすことはむなし。むなしの思いの積み重ねは人生を寂寞としたものとする。このような寂しさや孤独を追い払い、自己を支えてくれるのは自分しかなく、自分を支えてくれるのは読書しかない。

第13回 江別市都市景観賞受賞



北海道情報技術研究所(左)、北海道情報大学国際交流センター(右)



表彰状：北海道情報大学国際交流センター



江別市長より表彰状を授与される松尾泰理事長

平成13年10月30日(火)、江別市民会館において、第13回江別市都市景観賞の表彰式が行われ、本学の国際交流センターと北海道情報技術研究所が受賞致しました。受賞理由は、両施設を包むそれぞれの白い外観が、前庭の芝生や背後の原始林から浮き立つようなコントラストになり、市民の方々や近くを通る高速道路のドライバーから「景観が素晴らしい」と高く評価されたものです。式には、本学理事長の松尾泰理事長が両施設の代表として出席、表彰状と記念の表彰楯を施設毎に小川江別市長より授与されました。

小川市長からお祝いの言葉があり、これに対し

松尾泰理事長より、「素晴らしい賞を受賞し光栄です。特に創業者である松尾三郎前理事長が喜んでいると思います。今後とも地域に根ざし、ますます江別市市民との交流を深めてまいります」と謝辞を述べられました。表彰の後には記念撮影も行われ、式は盛会裡に終了致しました。

『江別市の都市景観賞とは』
この賞は、美しい都市景観をつくり出している建造物や、市民の街づくり活動を讃えるため1987年に制定された。制定以来これまで、建造物部門22件、特別部門16件が受賞している。

就 職 コ ー ナ ー

就職指導スケジュール 【学部3年生・大学院1年生対象】

クレペリン検査(無料)……………11月16日(金) 5講目 201・202教室

クレペリン検査とは一般企業でも多く使われている適性試験のひとつです。内容は一桁の数字の足し算を前半15分、後半15分の合計30分行ってもらいます。診断結果としては、作業量や疲労度、精神面など自分であまり意識していない部分が数値として現れます。

エントリーシート対策講座(無料)……11月30日(金) 5講目 202教室

近年、多くの企業で「エントリーシート」という、会社独自の申込書を提出させています。用紙に記入させるものや、ネット上の画面に入力させるものもありますが、このエントリーシートが書類選考に使われ、これにパスしないと次の段階に進めないということにもなります。書いた自己PRや志望動機は専門の人が添削してくれますので、その結果を見て、自分でさらに修正をして、本番のエントリーシートでは失敗ないようにしましょう。

一般常識テスト(無料)……………12月7日(金) 5講目 202教室

多くの企業の採用試験で課せられるものです。日頃から新聞を読む等の準備がかかせません。

ビデオ説明会(無料)……………1月23日(水) 2講目 202教室

「就職活動のマナー」をビデオ上映する予定

論作文対策講座(有料:金額未定)……1月23日(水) 3～5講目 203教室

採用試験で作文を書かせる場合には、30分～1時間程度の時間が設定されることが多いようです。テーマを把握し、素早く自分の考えをまとめ、文章の構成を考えなくてはなりません。この対策講座で練習しておきましょう。専門の人が添削してくれます。

SPI対策講座(有料:金額未定)……1月24日(木) 3～5講目 203教室

SPI試験とは採用試験で多く使われる適性検査のひとつ。能力検査と性格検査から構成されています。対策によって結果に差が出やすい試験ですので、本番の前に一度経験しておくことをお勧めします。

女子学生対象就職説明会(無料)……1月25日(金) 2講目 202教室

外部講師を招いて、女子の採用の現状と進め方を考えます。

第2回模擬適性検査(無料)……………1月25日(金) 3講目 202教室

実際の就職試験を念頭においた模擬試験です。

面接レッスン講座(無料)……………1月28日(月) 3講目 202教室

面接についてのアドバイスと指導が行われます。指導を受けるのと受けないのとでは本番で大きく差が出ます。是非参加して指導を受けて下さい。

個人面談……………1月29日(火)～2月4日(月) 就職課

全ての卒業予定者に対して進路調査を行います。

内定の連絡について 【学部4年生大学院2年生対象】

就職課は皆さんの就職についての状況を把握する必要があります。内定をもらったら必ず就職課に連絡をして下さい。

第 11 回 体 育 祭

体育祭実行委員長 2年 佐々木 英彦

今年は体育祭があった。いや、「あった」というよりは「やった」という感じだろうか？去年は体育祭が中止になっている。誰もやろうとしなかったからだ。こんな言い方をすると、勘違いするかもしれないが、体育祭は誰も企画はしないが、やって欲しいとみんなが願っているものだと思う。だから去年、体育祭がなくなった時に残念に思った人は少なくなかったはずだ。去年は僕もその中の一人だった。

体育祭などの学校行事を含め、大学生活は「消極的」では損をすると、僕は思う。「情報大はつまらない。」こんなことを考えている人が余計、大学をつまらないものにさせている。つまらなければ面白くすればいい。もっと、「積極的」にいけばいい。「情報大をたのしくしよう。」そういう人達が増えれば、きっと大学生活がもっと面白くなる。情報大の歴史は他の大学に比べまだまだ

浅い。決まりごとや伝統みたいなものが少なく、四苦八苦することもあるけれど、反面、自分たちのやりたいことが実現できる。学生が少ない、学校が小さい…こんなふうマイナスに物事を考えていたのでは、先へ進めるものも進めなくなってしまう。常にプラスに物事を考えていけばいい。こんな考え方をするメンバーが中心となって、今年の体育祭の委員会は組織された。そして無事、体育祭を行うことができた。今年の体育祭は予想していた参加人数よりも、ずっと多くの学生に参加してもらうこともできた。そして、競技やそのあとの交流会も300人近くの学生の参加が見られ、盛大に行うことができた。来年も更により多くの学生に参加してもらえよう、実行委員会で改善を行い企画を練るつもりだ。

体育祭だけでなく、情報大がもっと面白くなるようにこれからも活動していきたい。

◇第11回情報大体育祭結果報告◇

総合優勝 3B
総合2位 Z1 (4年経営学科、院生、参加希望者)
総合3位 3A 1EF

○バスケットボール
優勝 3C
2位 1EF
3位 2C 1GH

○バレーボール
優勝 Z1
2位 2D
3位 1A 3B

○サッカー
優勝 2AC
2位 Z1
3位 1C 2B

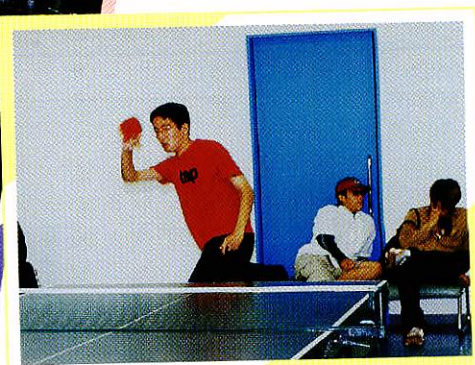
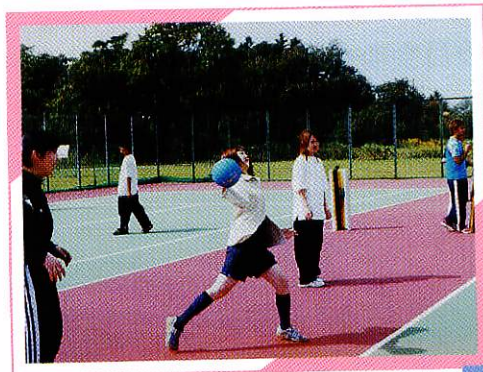
○ドッジボール
優勝 3C
2位 2D
3位 2B Z2

○ソフトボール
優勝 3B
2位 1EF
3位 1C 1GH

○卓球全17チーム結果 (1勝1負)

チーム2 3C2 佐藤 寛人、1E 児玉 大樹、1B2 小川 和正、3B2 村上 秀司
チーム4 1A1 佐藤 博紀、1G 渡辺 たつや、1A 中垣 考弘、1A 濱 啓一郎
チーム14 1F 久住 安則、4B2 菅野 朋洋、1D2 高木 慎太郎、4C 岩崎 誠

MEMORIAL PHOTO by 体育祭



第13回 蒼天祭

「蒼天祭とワ・タ・シ」

第13回蒼天祭実行委員会委員長 4年 田代智志

今年の蒼天祭も無事終わり、ホッと一息の今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか？蒼天祭に参加していただいた方々、心より御礼申し上げます。今年参加されなかった方々、来年は参加しましょう。

学生の方々及び先生方の中には、蒼天祭というモノを「休日」と考えてらっしゃる方がいるかもしれません。果たしてそうなのか？答えは「否」です。少々このことについて論じさせていただきたい。そもそも、大学祭の存在意義とは何か？私が考えるに、それは「一般の人へ向けて大学をアピールし、広く大学を知ってもらう催し」であり、「地域の人と交流を育むための催し」であると考えます。この意見に異論のある方は、後日学生控室へ。私の前で思う存分異議を唱えて下さい。但し、今年の大学祭に来て下さった方に限ります。さて、少々話がズレましたが、大学祭は上記のような意義（私見ですが）があり、極端な話しをすれば大学祭によって一般の人の大学のイメージが決すると言っても過言ではありません。今現在、情報大学は一般の人にどう思われているか皆さんはご存じでしょうか？私は今年、ローカルのTV番組に出演して大学祭の宣伝をしてきました。その時、TV局の営業課の方に情報大のイメージについて訪ねてみたところ、「みんなでパソコンに向かって、なんか暗いイメージがあるよね」とのこと。はっきりとは記憶していないのですが、ニュアンス的にはこのようなことを仰られていました。一般の方全員が全員そのように思っているのではないにしろ、大半

の方がそのように認識しているのは間違いないでしょう。時々そういった認識の方がいますし・・・では、この認識を払拭するため我々が出来ることは何であるかといえは、一番身近なのが大学祭ではないだろうか？TVCMや宣伝看板などは学生はもちろん先生方でもどうこうすることは出来ないだろう。大学祭ならば、学生や先生方の勉強の成果や大学の活気をアピールするには絶好の機会であると私は考える。にもかかわらず、大学祭＝休日と考えている人が多い。私にはわざわざチャンスを潰しているようにしか見えない。大学祭＝休日という考え方は悪いことではない。実際、私自身も実行委員となって大学祭の仕事をするまでは、大学祭＝休日という考え方だった。しかし、今はそうは考えられない。確かに今は我が大学の大学祭はあまり意味を成してはいない。だが、それは学生や先生方の危機感の薄さ、無責任さが招いていることであり、一昨年はその考え方の所為で大学祭が無くなりかけたほどである。皆が参加し、皆が協力し、皆が「大学祭」というものを盛り上げていくべきではないだろうか？

学生だろうが先生だろうがそのようなことは関係なく、大学に所属する人間として、もっと大学祭の存在意義やそのあり方について考えていき、今以上に大学祭に積極的に参加するべきではないだろうか？新しい学部が増えた今、今まで通りといった考え方は通用はしない。今後の大学祭はもっと変化していくべきではないかと考えるとともに、この辺にて筆を置こうと思う。

10月吉日

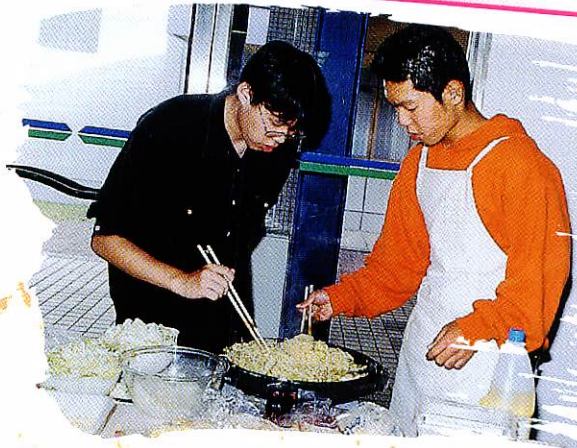
Time table 10/13

| 時刻 | 体育館 | 松尾記念館 | 教室 | 屋外 |
|----|-----------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 10 | 00 ライブ2001 | 全日放送休止 | 00 各種模擬店 右に同じ | 00 各種模擬店 |
| 11 | 軽音楽部が繰り広げる音楽の祭典。ぜひお越しください。 | | 00 HIU Walker 情報大学構内を回って9枚の絵を探して2階の202教室へ急ぎましょう。先着順で商品をプレゼントいたします。 | 全日、屋外で各サークルが模擬店を出します。早くなくなってしまうところもあるかと思しますので、早めにお越しください。 |
| 12 | | | | |
| 13 | | | | |
| 14 | 30 大ピンゴ大会&紙ヒコーキ大会 | | | |
| 15 | ピンゴ大会と紙ヒコーキ飛ばし大会を開催します。詳しくは、欄外参照。 | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | 30 ライブ2001 | | | |
| 18 | 来年デビューが予定されているインディーズバンドが2組登場 | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |

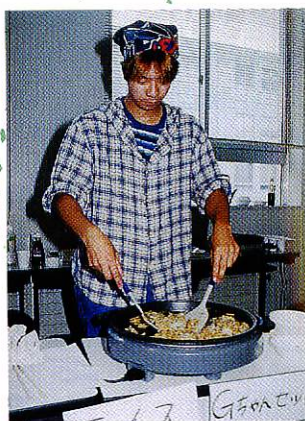
Time table 10/14

| 時刻 | 体育館 | 松尾記念館 | 教室 | 屋外 | |
|----|--------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 10 | 00 ライブ2001 | 放送休止 | 00 各種模擬店 右に同じ | 00 各種模擬店 | |
| 11 | 前日に引き続き、軽音楽部によるライブです。時間がたっぷりあるので、堪能できることを間違いないし。 | | 00 開場 メロン記念日 スペシャルライブ メロン記念日によるライブです。終了後には抽選会もあります。チケットは大切にしてくださいね。 | 00 HIU Walker & ケータイピングジェット HIU Walkerは前日の説明をお読みください。ケータイピングジェットは欄外をご覧ください。 | 全日、屋外で各サークルが模擬店を出します。早くなくなってしまうところもあるかと思しますので、早めにお越しください。 |
| 12 | | | | | |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | 15 閉会式 | | | | |
| 16 | 今年の蒼天祭最後のイベント。ぜひともお見逃しの無いようお願いいたします。 | | | | |
| 17 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| 19 | | | | | |
| 20 | | | | | |

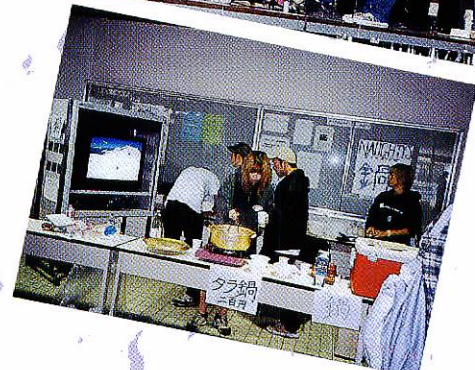
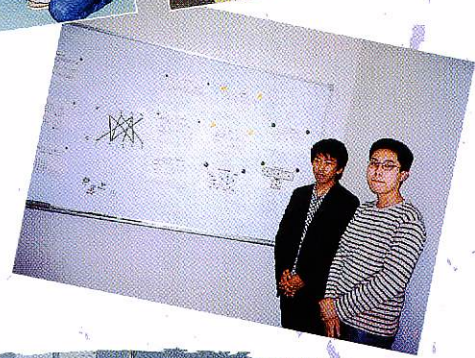
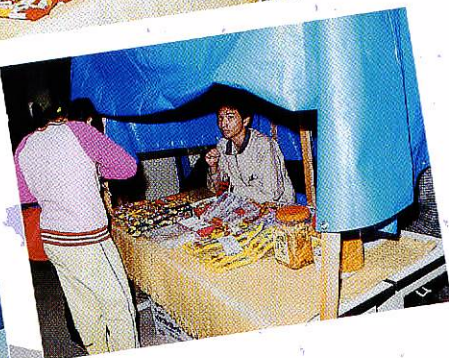
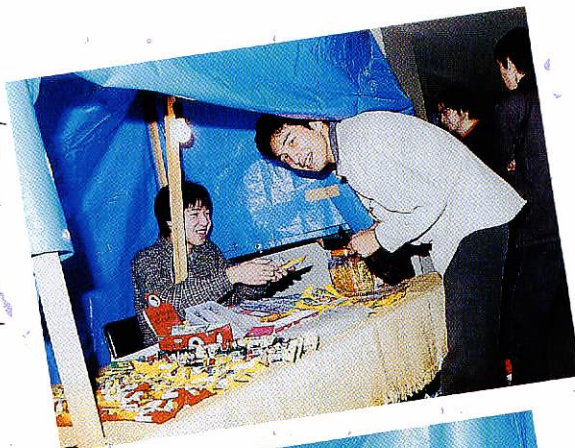
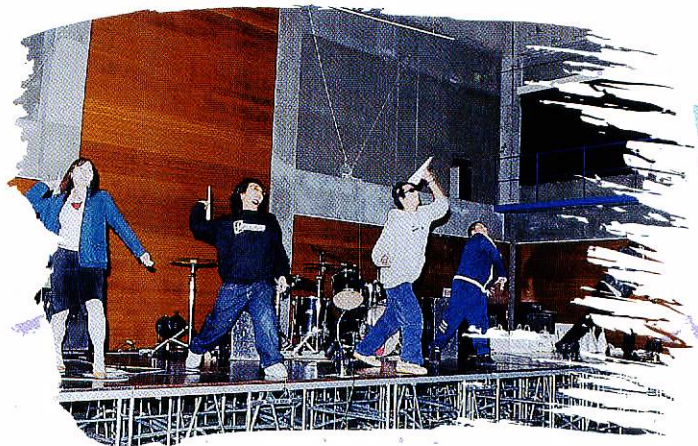
MEMORIAL PHOTO by 蒼天祭



MEMORIAL PHOTO by 蒼天祭



MEMORIAL PHOTO by 蒼天祭



◆◆ 教職員の動向 ◆◆

☆ 大 学 ☆

◇教員人事◇

採用(9月1日付)

経営情報学部 経営学科 講師 向原 強

◇職員人事◇

配置換(8月1日付)

通信教育部教務第二係長 高田かおり(教務課教務係長)
就職課就職係長 吉村美穂(通信教育部教務第二係長)
会計課 長坂綾子(総務課) 総務課 古川啓子(会計課)
学生課 渡利国彦(総務課) 総務課 中村正志(学生課)
通信教育部 池田未央(電算課) 教務課 山隈治子(通信教育部)

退職(8月10日付)

就職課就職係長 桑川和広

◆◆ 7月~11月主要行事 ◆◆

☆ 法 人 本 部 ☆

10月16日(火)・17日(水) 総務省北海道管区行政評価局実地調査

☆ 大 学 ☆

- 7月6日(金) 経営情報学部教授会
13日(金) 情報メディア学部教授会
27日(金) 全学教授会
8月4日(土) 南京大学中国語短期留学(8月30日(木)迄)
26日(日) AO入学試験(第1次面談)
31日(金) 教職員健康診断
9月8日(土) 大学院入学試験(1次募集)
14日(金) 経営情報学部教授会
情報メディア学部教授会
19日(水)~20日(木) 体育祭
21日(金) 全学教授会
22日(土) AO入学試験(第2次面談)
10月12日(金) 経営情報学部教授会
13日(土)~14日(日) 大学祭(蒼天祭)
19日(金) 情報メディア学部教授会
26日(金) 全学教授会

☆ 通信教育部 ☆

<前期地方スクーリングⅢ>

- 7月6日(金)~8日(日) 札幌、新潟、福岡
7月13日(金)~15日(日) 全国15カ所
7月20日(金)~22日(日) 名古屋、北九州

<夏期スクーリング>

8月6日(月)~8月29日(水)

<後期地方スクーリングⅠ>

10月23日(金)~25日(日) 福岡 10月26日(金)~28日(日) 全国13ヶ所
11月2日(金)~4日(日) 仙台、静岡、名古屋、鹿児島

<後期地方スクーリングⅡ>

11月9日(金)~11日(日) 全国14ヶ所

<前期印刷授業科目試験>

9月1日(土)~2日(日)、7日(金)~9日(日)、16日(日)

<後期レポート提出期間>

11月5日(月)~12日(月)

<入学選考>

10月19日(金) 平成14年度第1回入学選考

◆◆ 広報活動 ◆◆

* 高校訪問 *

- 7月6日(金) 大学説明会 大分・広島・大阪・名古屋・新潟教育センター
7月7日(土) リクルートフェア 札幌
7月26日(木) e-learningフェア東京
7月28日(土)・8月26日(日)・9月22日(土) オープンキャンパス
7月30日(月) 教育総合フェア 東京
進学相談会(8月道内5会場、9月道内9会場、8月~9月東北5会場、9月東京1会場)
9月22日(土) 合同入学説明会 東京
えべつものづくりフェスタ2001
10月 青森地区高校教諭対象説明会(青森・弘前・八戸)
11月10日(土) 情報フェア(センチュリーロイヤルホテル)

* 校内ガイダンス *

7月~7校、9月~3校、10月~1校

* 高校訪問 *

北海道、青森県、岩手県等

* TVCM *

7月~11月 HBC、STV、HTB

◆◆ 主な来校者 ◆◆

- 7月10日(火) 松風塾高校教員
8月7日(火) 秋田教育センター本学視察研修会
8月29日(水) 野幌高校1年生大学見学会
9月2日(日) 深川東商業高校PTA見学会
10月2日(火) 白樺学園高校教員
10月4日(木) 遠軽郁凌高校教員
10月19日(金) 札幌丘珠高校1年生大学見学会
10月25日(木) 池田高校教員

編集後記

今年も雪がちらついてきました。ついちょっと前春がきたと思ったら、もう冬です。北海道の四季は「春夏秋冬」ではなく、「春夏秋冬(真冬)」と冗談で表現する人もい

るほど、すぐ冬がやってきます。さて今年も、体育祭・蒼天祭ともに盛況で終えたよう
でなによりです。筆者も、焼きそばを食べたり、クレープを戴いたり。果ては、模
擬ピストルの射撃やら、ゼミの出し物の説明を拝聴する
など、楽しく過ごさせて戴きました。今回の「ななかまど」
は、その雰囲気や少しでもお伝えしようと写真をたくさん掲載いたしました。
ご覧戴けたでしょうか。もう一つお知らせ、既にお気づ
きの方もいらっしゃると思いますが、今回号からA4版
に致しました。文字も大きく見やすくなったと思います。
これからも、「ななかまど」可愛がって下さい。(S)

北海道情報大学学内報
「ななかまど」第21号
発行日 平成13年11月15日
発行 北海道情報大学
編集 学内報編集委員会